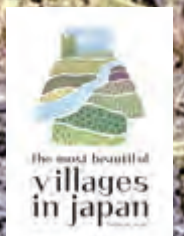


広報 ㊦
No.752
令和8年

いいたて10

www.vill.iitate.fukushima.jp





美わしく 清らかな村 いいたて

飯舘村第7次総合振興計画のロゴマークが決定しました

最優秀賞 菊山花音さん(岡山県)
優秀賞 稲富和彦さん(東京都)／前田昌克さん(大阪府)／野見山麻紀さん(福岡県)／庄司大華さん(飯舘村)／芦田為美さん(京都府)
イイタネちゃん賞 居関孝男さん(京都府)／大嶋雅恵さん／中谷愛さん(埼玉県)／住谷弘恵さん(茨城県)／宮川さやかさん(長野県)／川崎心愛さん(和歌山県)

飯舘村第7次総合振興計画が将来像に掲げる「美わしく清らかな村いいたて」のロゴマークを公募したところ、全国から208人・314作品の応募がありました。厳正なる審査を経て、菊山花音さん(岡山県)の作品が最優秀賞に選ばれました。また、ロゴマークの公表は、飯舘村が70周年を迎えた9月30日に合わせて行いました。

このロゴマークは、なだらかな山並みと清らかな川の流れを中心に、村の木・花・鳥である、「あかまつ」「山百合」「うぐいす」と、「未来へとつながる希望の光」を、やわらかな色彩で表現しています。菊山さんは「豊かな自然や美しい風景、未来へ向かう村の姿に触れ、『それらの『イイタネ』を大切に育み、実りある未来へ広げていきたい』という想いを表現しました」と話しています。

目次 CONTENTS

- 03 話題「7次総のロゴマークが決定しました」
- 04 特集「令和7年度決算報告」
- 10 学びの広場「英語弁論大会」ほか
- 12 ほけんとふくし「季節性インフルエンザと新型コロナの流行時期です」
- 14 空から百景「秋の日の新田川」
- 16 議会報告「9月議会定例会」
- 18 いいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からお知らせInformation／9月のできごと
- 24 いいたて20行政区 vol.6 八木沢・芦原行政区
- 25 いいたて今昔物語／ふれ愛館だより
- 26 報告「宝くじ事業の報告」／いいたてPHOTOリレー
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS「飯舘村の食を訪ねるバスツアー」ほか

9月30日期限
のこれまでの商
品券も1月31日
まで使用OK!

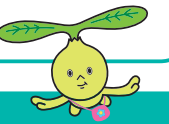
プレミアム付き「いいたてほのぼの商品券」使用期限延長＆追加販売！

販売期間・使用期限は令和9年1月31日(日)まで 問 飯舘村商工会 ☎0244-26-7957
1冊5,000円(8,000円分) 1冊あたり3,000円もおトク！

購入方法 ①住民登録者は10冊まで ②村内事業所(商工会員や商品券取扱事業所)に勤務する従業員及びふるさと住民(①は除く)は3冊まで購入可能。※1冊単位で販売。なくなり次第終了。対象者には商品券購入用ハガキ、申し込みがあった対象事業所の従業員には新しい購入者使用者証が、10月上旬までに届きます。※前回の購入者使用者証は利用できません。ハガキもしくは購入者使用者証を持参し飯舘村商工会でご購入ください。※平日午前9時～午後4時。

特別販売日 次の日程で日曜日の特別販売も実施します ※①はイベント会場のみでの販売。

- ①10/25(日) いいたて秋まつり本部(ふれ愛館敷地内)で午前9時～午後2時
- ②11/1(日)・12/6(日) 飯舘村商工会で午前9時～午後4時



1人につき2,000円分「生活応援燃料クーポン券」をお届けします！

居住先の世帯ごとに郵送で届きます(申込不要) 問 飯舘村商工会 ☎0244-26-7957

物価高騰でガソリンや灯油の値段が上がっていることを受け、委託先の飯舘村商工会から、10月上旬までにクーポン券を発送します。村内の3事業所(荒木屋・北原商店・JAふくしま未来サービス飯舘給油所)で、令和9年1月30日(土)まで、直接使用できます。

📷 今月の表紙 いいたて希望の里学園の1～6年生が、村民ボランティアの協力で稲刈りを体験しました。までのりの里の子ども園の年長児も、一生懸命手伝いました。前日までの雨模様が、この日を待ちかねたように、さわやかな秋晴れに。子ども同士、多世代間の交流が、黄金色の実りの田んぼに広がりました。P11の記事もご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613までお知らせください。

飯舘村の決算報告

ポイントと共にお伝えします

「広報いいたて」では毎年、各会計の決算がまとまり9月議会定例会で承認されたタイミングで、前年度の決算報告を掲載しています。村の動きや村民の皆さんの暮らしに関わる大切な報告ですが、専門用語が多めで、やや分かりにくい部分もあるかと思いますが、今回の決算報告では、報告に使われている用語の意味や決算の内容について、一部解説を加えて掲載します。解説役で、村の予算を預かる総務課財政係の職員が登場します。

令和7年度飯舘村決算報告

飯舘村における令和7年度各会計決算がまとまり、9月議会定例会で承認されました。

令和7年度一般会計決算額は、歳入116億472万円、歳出111億5129万円であり、それぞれ過去9番目の規模となりました。歳入歳出差引額は4億5343万円、実質収支は、翌年度へ繰り越すべき財源1億6789万円を差し引いた2億8554万円の黒字です。東日本大震災の復興・創生に関連する支出は60億6944万円で、歳出総額の54.4%を占めています。

令和7年度の一般会計の他、特別会計・企業会計についてもお知らせし、村職員の給与などについても報告します。

CHECK!

歳入は、前年度に比べて、村税が10.6%の増収となり、繰越金も大きく増加しました。一方、国や県からの交付が大きな割合を占める「依存財源」については、事業内容の変化に伴い減少しました。前年度に比べて約20億円の歳入減となりましたが、歳出の調整で約2億8,554万円の黒字で決算しています。

歳入

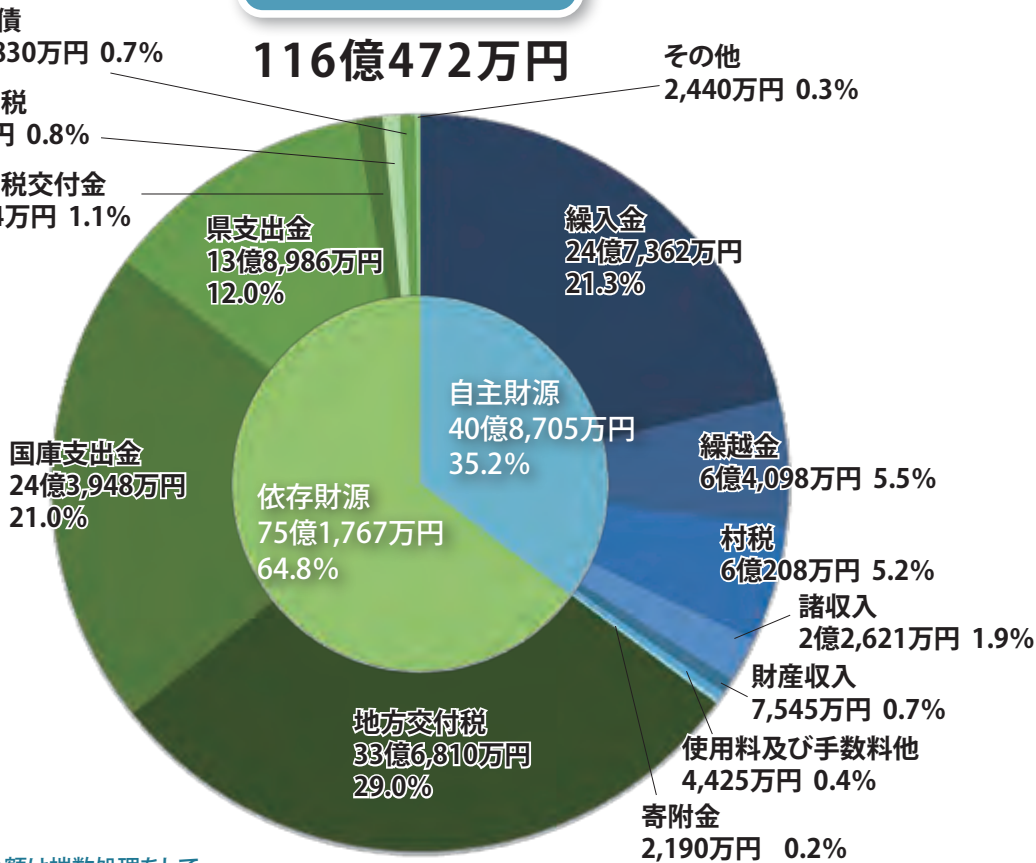
ここで言う歳入は、飯舘村が1会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）に受け入れた収入の総額です。大きく分けて「自主財源」と「依存財源」で構成されています。

自主財源の割合が徐々に大きくなっています。

自主財源：自治体が自ら集める収入。
依存財源：国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入。

歳入

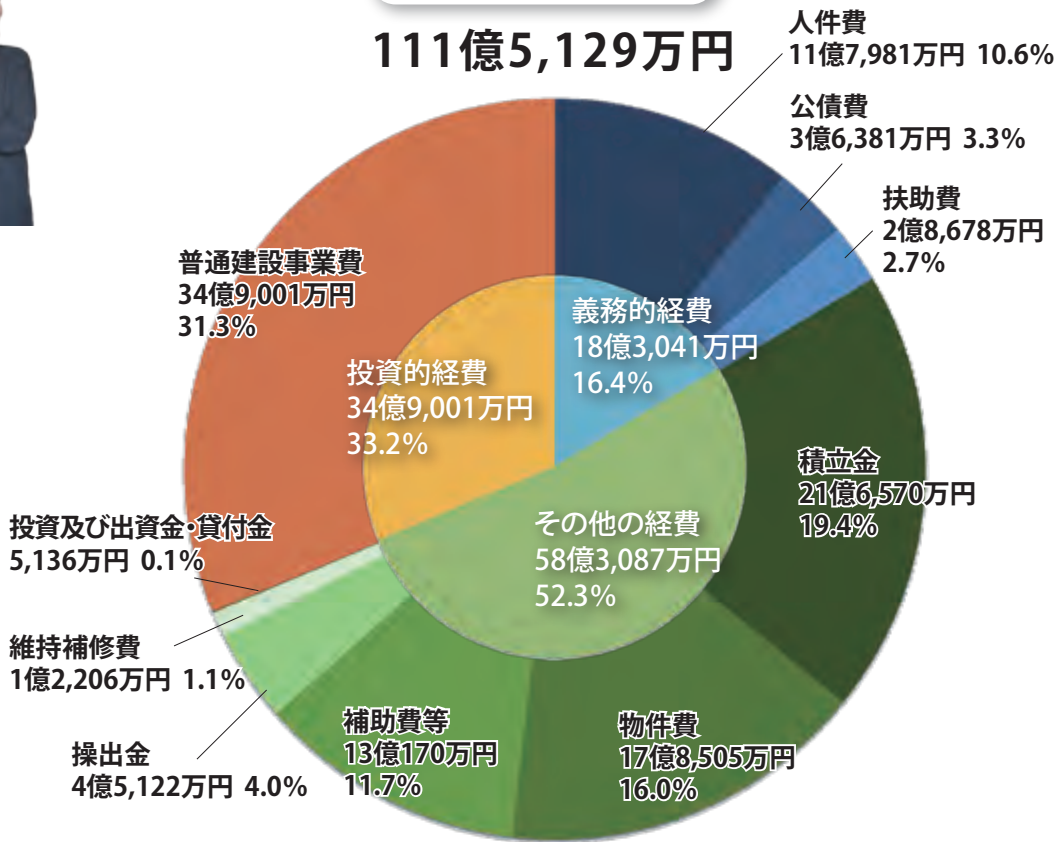
116億472万円



※金額は端数処理をして万円単位にしています。

歳出

111億5,129万円



将来を見越した歳入と歳出のバランスが重視されています。

新しい村に向かって 令和7年度に実施した主な施策

令和7年度一般会計決算額の中で、復興・創生事業に要した歳出総額は60億6,944万円で、歳出総額の54・4%を占めました。その他の事業も含め、令和7年度に村が行った主な施策の一部を紹介します。

農業基盤整備促進事業
暗渠排水・用排水路の整備等
8億3,838万円



産業団地整備事業
産業団地の整備
6億6,146万円



第7次総合振興計画策定事業
飯舘村第7次総合振興計画の策定業務
1,713万円



ふくしま森林再生事業
森林施業計画の策定・施業実施
3億1,857万円



いいたて魅力向上発信事業
都市圏での村産品のPR等
3,888万円



子育て応援支援事業
小中学校・高校への進学費用を支援
1,724万円



予算を立て、幅広い事業を着実に実行しています。

令和7年度に
村民1人あたりに使われたお金
258万9,110円 (10円未満四捨五入)

※一般会計目的別歳出決算額
111億5,129万円
人口4,307人(令和8年3月31日現在)

農林水産業費
農業復興のために



1人あたり
76万9,310円

総務費
村全般企画・管理に



1人あたり
63万1,850円

土木費
道路や橋の整備に



1人あたり
10万2,200円

民生費
福祉増進のために



1人あたり
22万6,120円

衛生費
清掃・予防衛生に



1人あたり
12万7,650円

商工費
企業支援・観光などに



1人あたり
32万4,770円

教育費
学校教育の充実に



1人あたり
24万7,230円

公債費
借入金の返済に



1人あたり
8万4,470円

災害復旧費
災害復旧に



令和7年度は支出なし

消防費
消防・防災に

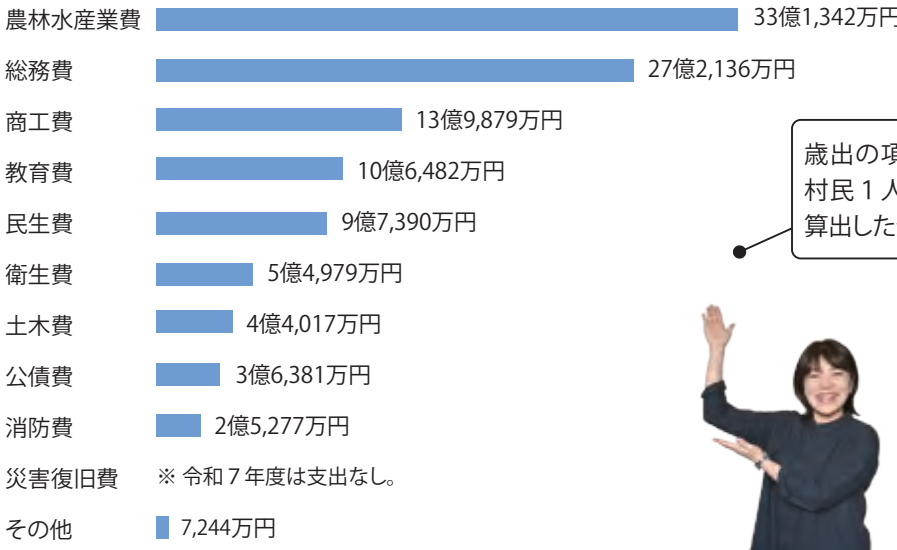


1人あたり
5万8,690円

※その他(議会費・労働費・諸支出金)…1人あたり 1万6,820円

歳出

ここで言う歳出は、飯舘村が1会計年度(4月1日から翌年3月31日)に行った全ての支出の実績です。「総務費」「農林水産業費」「商工費」のような区分に分けて、取りまとめています。



歳出の項目ごとに
村民1人あたりで
算出した金額です。



村役場職員の給与などをお知らせします

村の行政運営における公正性と透明性を高めるため、「地方公務員法」及び「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数等の人事に関する運営状況についてお知らせします。

● 職員数の状況

(各年4月1日時点)

			職 員 数		
			令和7年	令和8年	
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	2	2	
		総 務	24	23	△1
		税 務	5	5	
		民 生	13	13	
		衛 生	7	8	1
		労 働	0	0	
		農林水産	9	7	△2
		商 工	5	6	1
		土 木	15	15	
		計	80	79	△1
	教育部門		17	15	△2
	小 計		97	94	△3
公営企業等 会計部門	その他		9	9	
	小 計		9	9	
合 計			106	103	△3

※令和8年度の職員数103人のうち正職員は70人。

● 特別職の報酬などの状況

(令和8年4月1日時点)

給料 (月額)	村長	80万5,000円
	副村長	65万円
	教育長	62万円
報酬 (月額)	議長	30万円
	副議長	25万1,000円
	議員	23万5,000円
期末手当	村長	(令和8年度支給割合)
	副村長	
	議長	
	副議長	
	議員	
		6月期 1.750月分
		12月期 1.750月分
		計 3.5月分

● 職員の平均年齢、平均給料月額

(令和8年4月1日時点：一般行政職)

平均年齢	平均給料月額
48.3歳	33万8,000円

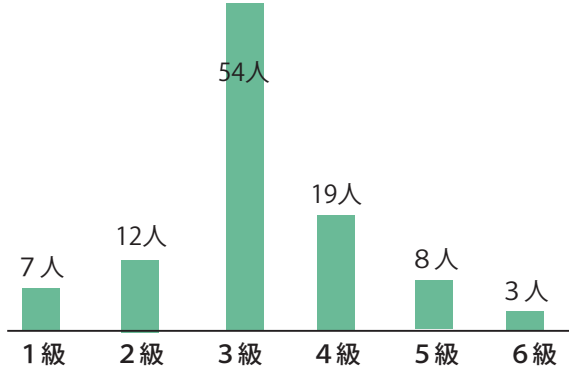
● 職員の初任給の状況

(令和8年4月1日時点)

一般行政職	大学卒	24万2,000円
	高校卒	21万円

● 一般行政職の級別職員数

(令和8年4月1日時点)



1級＝主事の職務
2級＝副主査の職務
3級＝係長または主査の職務
4級＝主任主査の職務
5級＝課長または主任主幹の職務
6級＝統括参事、総括課長または参事の職務

● 人件費の状況

(普通会計令和7年度決算)

住民基本台帳人口 (令和7年1月1日)	4,307人
歳出額	111億5,128万6千円
人件費	11億7,981万3千円
人件費率	10.6%

※人件費率＝人件費÷歳出額

※職員数は、一般職に任期付職員を含めた数(会計年度任用職員等を除く)を計上しています。

※詳細については順次村ホームページに掲載します。

飯舘村の財政状況

令和7年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。令和7年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にあり、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯舘村の財政状況
一般会計における赤字の大きさの程度(実質赤字比率)	15%	0%(算定なし)
全会計における赤字の大きさの程度(連結実質赤字比率)	20%	0%(算定なし)
村の財政規模に対する決算年度中の借入金返済額の割合(実質公債費比率)	25%	6.5%
村の財政規模に対する将来負担額(借入金返済額等)の割合(将来負担比率)	350%	0%(算定なし)

健全な財政状況にあることを数字で確認しています。



特別会計・企業会計の決算状況 ※()内は前年度比

簡易水道事業会計と農業集落排水事業会計は、令和6年度より、特別会計から企業会計に移行しました。

特別会計

- 国民健康保険特別会計
歳入 11億3,254万円(2.9%増)
歳出 9億9,981万円(1.7%増)
- 介護保険特別会計
● 事業勘定
歳入 9億8,519万円(2.2%減)
歳出 9億1,690万円(4.8%減)
● 介護サービス事業勘定
歳入 612万円(4.6%増)
歳出 612万円(4.6%増)
- 後期高齢者医療特別会計
歳入 4,009万円(2.8%増)
歳出 4,009万円(2.8%増)

企業会計

- 簡易水道事業会計
● 収益的収支
収入 2億5,984万円(26.8%増)
支出 2億3,410万円(11.8%増)
● 資本的収支
収入 5,536万円(増減なし)
支出 6,104万円(0.4%増)
- 農業集落排水事業会計
● 収益的収支
収入 9,813万円(7.8%減)
支出 9,473万円(4.7%増)
● 資本的収支
収入 1,767万円(27.3%増)
支出 2,458万円(2.8%増)

一般会計の他に特別会計・企業会計も決算します。

特別会計：一般会計と区分する独立した会計。特定の事業にかかるコストや収支のバランスが分かりやすくなります。

企業会計：サービスを受ける人が費用を負担する「受益者負担」が適用される分野の会計も一般会計とは区分します。

● 児童と園児が稲刈りを体験！

5月に田植えをした飯樋地区の水田で、児童が「あぶくもち」の稲刈りを体験しました。場所の提供から田の管理まで、活動を支える森永正男さん（前田・八和木）をはじめ、この日は9人の村民ボランティアが協力。鎌で刈るコツやワラで“まるく”方法を伝授し、“はせがけ”まで共に活動しました。

前日までの雨で足元がぬかるんでいましたが、児童は1～6年生の縦割り班で、楽しそうに、力を合わせて稲刈りをやり遂げました。こども園の年長児も参加し、実りの秋を体験しました。

学園NEWS! こども園NEWS!



森永さんの協力ですっきり実った「あぶくもち」。



希望の里WAKUWAKU Eツアー報告会

8月にオーストラリアで実施した『語学研修 希望の里WAKUWAKU Eツアー』の報告会を、9月12日、交流センター「ふれ愛館」で開催しました。

報告会では、研修に参加した、いいたて希望の里学園・後期課程の20人が、研修で学んだことや感じたことを、関係者や家族に向けて発表しました。

「文化の違いはあるけれど、それを継承していく様子は日本と共通している」「ホストファミリーが本当の家族のように接してくれたことがうれしかった」「景観を大切にすることが村と共通していた」「英語の楽しさや世界観、多様性を学ぶことができた」など、生徒がさまざまな学びや気づきを堂々と発表。また、経験を「今後の学びや人生に生かしたい」と力強く語りました。

報告を受けて、杉岡村長と増田校長が講評を述べ、「研修を楽しんだ様子、経験を生かそうという気持ちが伝わった」「一緒に研修に行ったような気持ちになる素晴らしい発表だった」と称賛しました。



学園NEWS!

● 英語弁論大会で見事入賞！

8月に開催された『第4回相双地区中学校英語弁論大会』暗唱の部で2位に入賞した9年生の山田安土さんが、8月31日、結果を報告するため来庁しました。山田さんが発表したのは、落語の「まんじゅうこわい」です。「緊張した」と言う本番でも、表情や発音を意識。「語学研修“希望の里WAKUWAKU Eツアー”での経験を生かすことができた」と話していました。山田さんは、9月17日にいわき市文化センターで行われた県大会にも出場しました。



増田校長（左端）、飯塚崇先生（右から2人目）と共に来庁し高橋教育長（右端）に結果を報告。

● トウモロコシの贈り物

山梨県忍野村で農業を営む田邊達也さんが来村。いいたて希望の里学園とまでいの里のこども園の子ども達に、トウモロコシを贈りました。

田邊さんは、震災直後から、飯館村に思いを寄せ、「子ども達を喜ばせたい」と支援を続けてくださっています。8月31日に、トウモロコシを携えて学園を訪れた田邊さん。そのやさしさに応えて、子ども達も感謝の気持ちを伝えていました。長年にわたるご支援、本当にありがとうございます。



子ども達と交流し励ましを贈る田邊さん。採れたてのトウモロコシを直送していただきました。

● 福島ユナイテッドFCサッカー教室

9月17日、いいたてスポーツ公園で、株式会社ハヤシ製作所協賛の『福島ユナイテッドFCサッカー教室』が開催され、いいたて希望の里学園の児童生徒がサッカーに親しみました。

子ども達は、福島ユナイテッドFC所属の清野通仁コーチと鈴木愛翔コーチの指導のもと、ボールを使ったストレッチや、鬼ごっこなど、遊びを取り入れたユニークな運動を楽しみました。試合形式の活動では、グラウンドを走り回ってボールを追いかけて、元気な笑顔を見せていました。



村では下記の対象者に接種費用の助成を行っています

■ 小児インフルエンザ予防接種について

- ① 助成対象 ▶ 生後6か月以上中学3年相当まで
- ② 助成期間 ▶ 令和8年10月1日～令和9年1月31日
- ③ 実施医療機関 ▶ 村のホームページに掲載しています。
- ④ 接種方法 ▶ 実施医療機関に直接予約をしてください。

接種の際に必要な予診票は、各医療機関のものを使用してください。

■ 高齢者インフルエンザ・コロナワクチン予防接種について

- ① 助成対象
 - 1) 接種当日65歳以上の高齢者
 - 2) 接種当日60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方
- ② 助成期間(期間が異なりますのでご注意ください)
 - * 高齢者インフルエンザ予防接種 令和8年10月1日～令和9年1月31日
 - * 新型コロナウイルス予防接種 令和8年10月1日～令和9年3月31日
- ③ 実施医療機関 ▶ 福島県内の医療機関
- ④ 接種方法 ▶ 医療機関に直接予約をしてください。各医療機関に置いてある村の予診票をご使用ください。(村から各医療機関に予診票を送付しています)
- ⑤ その他 ▶ 県外で接種する場合は健康福祉課にお問い合わせください。

いいたてクリニックの予防接種情報 問 いいたてクリニック ☎0244-68-2277

10月中旬より、季節性インフルエンザ、新型コロナワクチンの接種開始を予定しています。10月1日より申し込みを受け付けておりますので、いいたてクリニックへお問い合わせください。
※いいたてクリニック開所日の火曜日・木曜日にお申し込みください。

予防接種 Q&A

Q1 予防接種はいつ頃受ければいいですか？

季節性インフルエンザは、例年12月から3月が流行シーズンです。個人差はありますが、免疫がつくまで2週間程度かかり、その効果は5か月程度といわれています。今年は、流行が早いので、早めに接種を受けることをお勧めします。

新型コロナについては、村では、国の指針に基づき、毎年秋から冬の時期に予防接種の時期を設けています。個人差はありますが、免疫がつくまで1～2週間程度かかり、その効果は約半年で徐々に低下していきます。

Q2 昨年、予防接種を受けました。今年も受ける必要がありますか？

インフルエンザ、新型コロナワクチンに用いられるワクチンは、流行している株に対応するため毎年見直されています。昨年、接種を受けた方であっても、今年度の接種についてご検討ください。

Q3 インフルエンザと新型コロナワクチンは、同時に接種することはできますか？

接種間隔に決まりはありません。医師に相談の上、インフルエンザと新型コロナワクチンは同時接種が可能です。その他のワクチンを受ける際も医師にご相談ください。

季節性インフルエンザと新型コロナの流行時期です

(参考：厚生労働省ホームページ)

■ インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによっておこる病気です。感染して1～3日間ほどの潜伏期間の後に、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に表れるのが特徴です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。

通常12月から3月に流行し、潜伏期間ののち、約1週間の経過で症状が軽くなります。子どもではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることもあります。

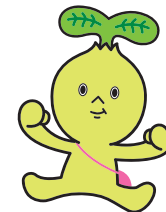
■ 新型コロナとは

新型コロナウイルスを病原体とする感染症であり、咳や飛沫を介して感染します。夏季及び冬季に患者が増加する傾向にあります。主な症状は発熱、咳、全身倦怠感ですが、頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等の症状が見られることがあります。

特に乳幼児や高齢者、一定の基礎疾患を有する方などが感染すると重症化するリスクがあります。新型コロナは年間を通して新規感染者が確認されています。

みんなができる感染症対策

- ① 外出後の手洗い、うがい等
- ② 咳やくしゃみの時は、咳エチケット
- ③ 人混みや繁華街への外出時のマスク着用
- ④ 室内ではこまめに換気をする



咳エチケット



マスク着用



手洗い



換気

予防接種をうけましょう

予防接種とは、感染症に対する免疫を付けたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。

接種をすることで、自分自身が感染症にかかることを予防すると同時に、より多くの方がワクチンを接種することで、社会に感染症がまん延してしまうのを防ぐことを目的としています。また、病気にかかったとしても、ワクチンを接種していた方は重い症状になることを防げる場合があります。

草野向押地区の水田の間を緩やかに流れる新田川（にいだがわ）。村西部の須萱地区に水源を持ち、南相馬市から太平洋に注ぐ二級河川です。流れに沿って見えるのは改修中の県道原町川俣線の一部。右奥には旧草野小学校の赤い屋根、左手には菊池製作所福島工場が見えます。記録的に雨の日が多かった9月。陽ざしが戻り、ほっと一息。美しい村の、穏やかな秋の風景です。



令和8年 第6回飯舘村議会定例会

令和8年9月議会定例会は、9月4日から18日までの日程で開かれました。一般質問は9月8日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。

議案審議は18日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。



今議会で可決された議案

令和8年度
飯舘村一般会計補正予算

令和8年度
介護保険特別会計補正予算

令和8年度
簡易水道事業会計補正予算

令和8年度農業集落排水事業
会計補正予算

令和7年度飯舘村一般会計及び各特別会計、事業会計の歳入歳出決算認定について

特定復興産業集積区域における村税の特例に関する条例等の一部を改正する条例

飯舘村高齢者等に対する肉用雌牛貸付基金条例を廃止する条例

飯舘村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

社アジラと7月2日に締結しました。この協定は、同社の飯舘村への企業立地を促進し、雇用の創出、産業の復興と創生、地域の活性化を図ることを目的としています。

■ 村民の帰還状況

9月1日現在の帰還者は、626世帯・1164人で、帰還率は約32%となっております。これに、転入者289人といいたてホームの入所者等を含わせ、村内居住者は819世帯・1507人となっています。避難を継続している方は県外に131人、県内は、福島市に1728人、南相馬市に242人、伊達市に214人、川俣町に185人、相馬市に101人など、合わせて2597人です。

■ 健康診断

6月17日から6月23日までの6日間、16歳以上の全村民を対象に、いちばん館で集団健診を実施しました。今年度の受診者は、昨年度並みの941人でした。健診の結果、指導が必要な方には家庭訪問や健康教室等

で保健指導を実施し、未受診の方には、個別に案内を送付し連絡をとるなど、今後とも受診率向上を図るとともに、村民の健康管理に努めてまいります。

■ 農政関係

今年の主食用米、飼料用米、新市場開拓米、ホールクropp・サイレージ用稲、米粉用稲の作付面積は、最終的に17地区・約369ヘクタールとなり、昨年より約73ヘクタール拡大しました。7月9日には、水稻育苗施設の建設にあたり、関係者約20人が出席し、安全祈願祭が執り行われました。

■ 農地中間管理事業について

農地中間管理事業を活用した農地の利用集積は、各行政区の話し合いの進捗や、仮仮置き場の復旧に併せて、随時計画の変更等を実施しているところです。今年度は、合計63ヘクタールの農地について、担い手への集積が行われる見込みです。昨年度までの集積面積と合わせて17地区・934ヘクタールの実施となる予定です。

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

■ 立村70周年記念事業

昭和31年9月30日に飯舘村と大館村が合併し飯舘村が誕生してから、本年9月30日をもって70周年を迎えます。これを記念し、村内各所で記念行事が開催されていますが、それらを象徴するイベントとして、10月4日に「70周年の歩みに感謝と喜びをともにする集い」、11月8日に「村制施行70周年記念式典」を開催する予定です。

「70周年の歩みに感謝と喜びをともにする集い」では、先人のご労苦に感謝する意味を込め、敬老会を第1部とし、続く第2部では記念のアトラクションを村民の皆様と楽しみ、70年の節目をお祝いしたいと考えています。

また、「村制施行70周年記念式典」では、村表彰式をあわせて開催し、村政伸展にご尽力いただいた方々を表彰するとともに、避難や復興に際してお世話になった方々をお招きして、感謝の意をお伝えすることとしています。

■ 消防防災関係

8月19日に令和8年度飯舘村災害対策本部運営訓練を実施しました。

東日本大震災以降、県主催による災害対策訓練は取組んできましたが、村単独での訓練は初めてとなりました。今後このような訓練を定期的で開催し、災害の予防と被害の減少につなげてまいります。

■ 消防操法大会

7月26日、「第46回福島県消防操法相馬地方大会」が相馬市の日立木カントリエレベーターで開催されました。

飯舘村消防団からは、第2分団から6人が出場し、降りしきる雨の中、きびきびと操法を行い、日ごろの訓練の成果を披露しました。審査の結果、惜しくも優勝は逃したものの、2人の団員が優秀操作員として表彰されるなど大きく健闘しました。

■ 連携協定

「旧白石小学校利活用及び企業立地に関する協定」を株式会

■ 鳥獣被害対策について

飯舘村鳥獣被害対策実施隊による7月末までの捕獲頭数には、サル67頭、イノシシ55頭、ハクビシン27頭、アライグマ19頭、タヌキ44頭、カラス6羽、カルガモ44羽となっています。

■ 商工観光関係について

物価高騰に対する家計への支援及び地域経済の活性化を目的としたプレミアム付き「いいたてほのぼの商品券」は、本年8月5日現在、1万6898冊を購入いただいたおり、引き続き事業を進めてまいります。

7月25日には、大倉地区にて「はやま湖まつり」を開催しました。福島県相双建設事務所による真野ダム見学会や木工教室などの体験イベントも開催され、約630人の集客がありました。

夜の部では地区に伝わる伝統の神楽が披露され、小雨の中ではありましたが、打ち上げ花火や水中花火が湖面に輝き、家族連れなどで大いに賑わいました。

■ 農業基盤整備促進事業

用排水路の機能診断を進めるとともに、暗渠工事については約84ヘクタールについて、国と協議をしながら工事を進めています。

■ 生涯学習関係

語学研修「希望の里WAKU WAKU Eツアー」は、いいたて希望の里学園・後期課程20人が参加し、8月4日から11日までの日程で、オーストラリアで実施しました。ホスト校での語学研修、学校交流やホームステイ、さらには現地大学生との交流活動など、英語学習に加えて、国際感覚を養う貴重な機会となりました。

7月26日に開催した「第5回飯舘村長杯パークゴルフ大会」には村内外から63人が参加しました。また、8月1日に開催した「立村70周年記念第5回いいたてナイター駅伝」には県内・県外から過去最多となる61チーム・248人が参加し、恒例となった夏の夜の駅伝大会を楽しんでいました。



各生産者の逸品が展示されました。最終日の9月14日には、展示会場にて表彰式が行われました。

道の駅までい館にて 「花の品評会」を開催しました

いいたて村の道の駅までい館を会場に、『令和8年度飯館村花の品評会』を開催しました。

品評会には、10人の生産者が、トルコギキョウ、スターチス、リンドウを出品しました。展示期間は、9月12日から14日で、来場した150人以上の投票を元に審査が行われました。

審査の結果、トルコギキョウ部門は佐藤照子さん（比曽）、スターチス部門は須田幸正さん（小宮）、リンドウ部門は阿部猛さん（佐須）が村長賞を受賞。他にも各部門で優秀賞が選ばれました。



参加者がグループに分かれ、県道原町川俣線を歩いて、道路脇のゴミを丁寧に拾い集めました。

きれいな道路を目指して 清掃活動を行いました

国土交通省では、道路の役割や重要性を啓発する期間として、8月1日から31日を「道路ふれあい月間」、8月10日を「道の日」と定めています。

福島県建設業協会相馬支部、福島県相双建設事務所、役場建設課では、毎年この時期に、道路清掃の奉仕作業を行っています。近年の猛暑を考慮し、今年は時期を調整して9月18日に実施しました。交流センター「ふれ愛館」の駐車場で出発式を行い、ドライバーや歩行者がきれいな道路を通行できるよう、県道原町川俣線の清掃作業を行いました。



さまざまな商品や料理を通して、村の農産物の魅力、生産者の取り組みなどをPRしました。

仙台オクトーバーフェスト 5日間の出展で村をPR

錦町公園（宮城県仙台市）で開催された「仙台オクトーバーフェスト2026」に9月21日から25日まで出展し、事業者と村の職員が、農産物や特産品、郷土料理などを販売しました。また、飯館産黒毛和牛の部位の食べ比べ、花をテーマにしたワークショップも実施。村の魅力を伝える中で来場者から「応援しています」「今度遊びに行きます」などと励ましをいただく場面もありました。



「福島県企業立地セミナー」 県内市町村が東京で企業と交流

8月27日、帝国ホテル東京（東京都千代田区）で開催された『福島県企業立地セミナー』に出展しました。セミナーでは、各市町村長によるプレゼンテーションが行われ、杉岡村長が飯館村の魅力や特徴、企業立地に向けた取り組みなどを紹介しました。また、交流会では17社と直接意見を交わし、立地環境や補助制度などを説明しました。

このセミナーをきっかけに立地場所として村に関心を持った企業から、改めて具体的な問い合わせも受けています。



内堀雅雄福島県知事を中心にトークセッションなども行われ、県としてのポテンシャルもアピールしました。

集落支援員 第1号 堀川洋子さんが就任

9月1日に村の辞令を受け、上飯樋行政区の集落支援員となった堀川洋子さん（大久保・外内）。週に4日、集会所に勤務し、区と共に地域の活性化、環境整備、見守り活動などに取り組んでいきます。

堀川さんは「毎日が新しいことの連続で大変ではありますが、地域について、今まで知らなかったことを知る楽しさを感じています」と笑顔で話していました。鈴木秀範区長は、「上飯樋行政区の『顔』となり、地域のパイプ役を担ってほしい」と期待しています。



上飯樋集会所で勤務する堀川さん。行政区に協力し、地域の活性化に貢献していきます。

市町村対抗軟式野球大会 1回戦で西郷村と対戦

『第20回市町村対抗福島県軟式野球大会』に飯館村チームが出場。9月6日、エフコム大泉球場（伊達市）にて、西郷村チームと対戦しました。

時折小雨が降る中、先発の大内良真投手（佐須）の力強い投球を中心に、16人の選手が一丸となって戦いました。また、約40人の村民が球場に駆け付け声援を送りました。随所に好プレーがありましたが残念ながら試合は1対6で敗れました。声を掛け合い笑顔で全員野球を楽しんでいた選手の皆さん。飯館村の元気な姿をアピールできた大会でした。



明るく笑顔が絶えない飯館村チーム。全力プレーに、応援の皆さんも、拍手や声援を送り続けました。

きつつきの会 視察研修で熊本へ

9月10日からの3日間、きつつきの会(菅野弘美代表／草野)が、災害・震災視察研修で熊本県を訪れました。震災を経験した地域に暮らす者として「災害」への理解を深めることを目的とした研修で、29人が参加。現地では、「熊本地震震災ミュージアムKIOKU」を視察し、熊本地震で生じた断層も見学しました。また、令和8年7月28日に発生した地震の被災地に義援金を届け、被災者に寄せる思いを伝えました。



宮内女性の会が村内文化財巡り

9月6日、「宮内女性の会」が、村内の文化財巡りを行いました。昨年に続き2度目の実施です。飯樋地区では縄文時代の赤石沢遺跡を見学し、比曽地区では、村指定建造物の「比曽の穀櫃」、村指定天然記念物の「田神社の神杉」、村史跡の「比曽の十三佛」を見学しました。村に残るさまざまな文化財に触れ、関心を深めた皆さん。「近くにあったのに見に来たのは初めて」「ぜひ多くの村の人に見てほしい」と感想を話していました。



飯館ホップ収穫祭

9月6日、ゲストハウスCOCODAのほ場で、『飯館ホップ収穫祭』が開催されました。「東京大学飯館村ホッププロジェクト」の主催で、今回が2回目です。

ホップは、同プロジェクトの学生らが、村民の協力を得て栽培しています。今年は背の高い栽培棚を増設し、日当たりや風通しがよくなったことで収量が増え、品質も向上したそうです。

収穫祭には村内外から約40人が参加。収穫や加工の作業を体験した他、村の農畜産物を使ったバーベキューを楽しみ、交流しました。



わくわく交流フェスタ開催



9月20日、交流センター「ふれ愛館」で、ゲストハウスCOCODAが「わくわく交流フェスタ」を開催しました。今回が4度目の開催で、開会にあたりCOCODAの大澤和己さん(上飯樋)が、「いろいろな出会いがあり、力をいただけて開催ができている」と感謝を述べました。音楽やダンス、台湾のインフルエンサーによる歌の披露などステージイベントが続いた他、屋外にはクラシックカーが展示されるなど、多彩な企画が来場者を楽しませました。

長泥行政区 盛りだくさんの交流事業

9月13日、長泥行政区が「パークゴルフ大会」と「防災訓練」を実施し、約30人が参加しました。いいたてパークゴルフ場で開かれた大会では、和気あいあいとスポーツを楽しみ、長泥コミュニティーセンターに移動して懇親会。続いて、同センターでの火災を想定した防災訓練を行い、消防飯館分署の職員を講師に初期消火訓練などにも取り組みました。「普段からの意識づけが重要だね」「家の消火器も点検しよう」と防災意識を高めていました。



いいたてハーレーサマーフェス

8月29日に開催された『2026いいたてハーレーサマーフェス』。いいたて村の道の駅までい館に、全国からハーレーダビッドソン社製のバイクが集結しました。交流人口創出協議会(峯岸ひろ代表)主催、バイク誌「BIKER'S MAGAZINE VIBES」共催で、同誌の只野利浩編集長が「飯館村の未来の力、楽しい夏の思い出になってほしい」とあいさつ。愛好家のカスタムハーレーの展示、サイドカーの乗車体験、ステージイベントなどが行われ、にぎわいました。



猟友会 安全狩猟射撃大会に参加



7月26日、猟友会飯館支部が、福島市クレー射撃場で開催された「令和8年福島県猟友会支部対抗安全狩猟射撃大会」に出場しました。年齢別の3クラスと女性クラスの4部門があり、飯館支部が全クラスに出場するのは今回が初めて。合わせて開催された「支部長親善射撃競技会」では、佐藤光良支部長(比曽)が3位に入賞しました。32人が所属し女性隊員も活躍している飯館支部では、会員を募集中。活動に興味のある方は事務局の渡邊春治さん(小宮) ☎090-3125-9393 までご連絡ください。

きもの着付け教室
参加者募集のお知らせ

生涯学習事業として、『きもの着付け教室』を開催いたします。
「着付け」と「帯結び」の2回に分けて開催しますが、どちらか一方でも参加が可能です。この機会に着付けを学び、きものに親しんでみませんか。

日時

①着付け
令和8年11月17日(火)
午後1時30分～3時30分
(受付午後1時)

②帯結び
令和8年11月25日(水)
午後1時30分～3時30分
(受付午後1時)

会場

交流センター「ふれ愛館」
視聴覚室

定員

各回5人

費用

無料

準備物

きもの一式をご持参ください。お手元がない場合はご相談ください。

福島県知事選挙
投票日は10月25日(日)

10月25日は第23回福島県知事選挙の投票日です。
私達の声を県政に反映させる大切な選挙です。全ての有権者の皆様にとって大切な1票となりますので、棄権せずに投票しましょう。

第23回福島県知事選挙
告示日 令和8年10月8日(木)
投票日 令和8年10月25日(日)

投票日の投票時間

午前7時～午後6時

投票日の投票所

■飯館村役場 1階
「ほっとコーナー」
■いいの交流館
(福島市飯野町字後川3-1)
※福島市役所飯野支所向かい
※福島市役所飯野支所では投票できません。ご注意ください。

期日前投票

飯館村役場
10月9日(金)～10月24日(土)
午前8時30分～午後8時

講師

高木久子さん
京都市ものコンサルタント協会一級講師

参加申込

参加を希望される方は、11月12日(木)まで生涯学習課へお申し込みください。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

問

生涯学習課
(交流センター「ふれ愛館」)
☎0244(42)0072

ハシドラッグ川俣薬局より
処方薬の受け取りについて

本紙8月号で、ハシドラッグ川俣薬局の処方薬を同飯館店で受け取る流れをお知らせしましたが、飯館店での受け取りが必ずしも当日にはならないことから、同薬局から利用者さんへのお願いが届きました。お知らせします。
処方薬受け取りまでの日数は処方箋の内容により変わります。飯館店の場合には配送の都合もありますので、当日受け取りを希望される方はあらかじめ川俣薬局にご相談・ご確認をお願いします。

問

ハシドラッグ川俣薬局
☎024(563)5372

サンライフ南相馬／いいの交流館
10月24日(土)午前9時～午後6時

問

飯館村選挙管理委員会
☎0244(42)1611
(村役場総務課内)

までの里のこども園
令和9年度入園児募集

飯館村立までの里のこども園では、令和9年度に入園する園児を募集します。入園を希望する方は、申し込み案内によりお申し込みください。申し込みの書類が必要な方はこども園までお問い合わせください。

入園対象

生後4か月から5歳児まで

入園要件

3歳未満の場合、保護者が就労等により在宅での保育が困難な方

保育料

無料(給食費・教材費等も無料)
※PTA会費は別途かかります。
※延長保育は別途有料です。

その他

保育日や保育時間は保育の認定区分ごとに異なります。

9月の村の動きと主なできごと

1日・集落支援員・堀川洋子さん辞令交付式(村役場)

4日～18日・9月議会定例会(議場)

5日・語学研修「希望の里WAKUWAKUツアー」
第2回事後研修(交流センター「ふれ愛館」)

6日・第30回市町村対抗福島県軟式野球大会1回戦 対西郷村
(伊達市・エフコム大泉球場)

11日・宮城県土地改良換地士部会技術向上研修会
(長泥「コミュニティセンター」)

12日・語学研修「希望の里WAKUWAKUツアー」報告会
(交流センター「ふれ愛館」)

12日～14日・令和8年度飯館村花の品評会(いたて村の道の駅までい館)

18日・「道の日」に係る道路清掃(県道原町川俣線)

20日・長泥行政区農地中間管理事業及び帰還スキーム(宮農)アンケート調査説明会
(長泥「コミュニティセンター」)

21日～25日・仙台オクトーバーフェスト 出展(宮城県仙台市・錦町公園)

24日・農業委員会定例総会(村役場)

25日・第3回学校運営協議会(村役場)

26日・イオンモール伊達ふるさと森づくり植樹祭(伊達市・イオンモール伊達)

27日～10月1日・わくわくどきどき合宿通学(農業研修館きらり他)

29日・定例教育委員会(村役場)

30日・「美しく清らかな村 いたて」ロゴマーク披露式(村役場)

・「10年後の手紙」発送式(村役場)

申し込み期限
11月25日(水)

申し込み先

までの里のこども園に郵送または直接提出
問
までの里のこども園
☎0244(42)0229

国民健康保険
こんなときは届け出を！

国民健康保険について、会社への就職や離職等により社会保険に加入された又は脱退された場合は、自動切り替えにはならないため、村へ届け出が必要です(マイナ保険証をご利用の方も同様です)。
届け出がない場合、さかのぼって課税となる場合や医療費の返還が生じる可能性がありますので、必ず手続きをお願いいたします。

①加入の場合

お勤め先の健康保険を抜けた・扶養からはずれた等
※お勤め先からの健康保険資格喪失証明書をお持ちください。

②脱退の場合

お勤め先の健康保険に加入した・扶養扱いになった等
※お勤め先からの資格確認書等をお持ちください。(加入者全員分)
問
住民課住民係
☎0244(42)1619

ふかや風の子広場に
カワセミ水族館が来るよ！

「ふかや風の子広場」に、立村70周年記念イベントとして「アクアマリンいなわしろカワセミ水族館」の移動水族館がやってきました。カエル、魚、水生昆虫、サンショウウオなど、生き物がいっぱい。飼育員さんの解説もあります。ぜひお越しください。

日時

10月31日(土)
午前の部▼午前10時～正午
午後の部▼午後1時30分～3時

会場

ふかや風の子広場
『ひみつ基地どきどき』
問
ひみつ基地どきどき
☎0244(26)7340

飯館村を形づくる個性豊かな
20行政区を連載で紹介します

6区 八木沢・芦原行政区 いいたて20行政区 vol.6

南相馬市に接して村の東部に位置する行政区。区内を通る幹線道路・県道原町川俣線（県道12号線）には、八木沢峠のかつての難所に整備された2つのトンネル「石ボロ坂トンネル」（平成17年開通）、「八木沢トンネル」（平成30年開通）があります。

江戸期には、太平洋沿岸と内陸を結ぶ奥州西街道（相馬街道）、通称「塩の道」の途上に八木沢宿があり、海産物を運ぶ馬や人足でにぎわいました。旧道沿いには塩蔵跡や団子茶屋跡の碑があり、往時の面影を伝えています。
また、街道の分岐に遺る宝暦7年（1757年）建立の「六字名号供養塔」は、道標を兼ねた「名号塔」で、飢饉の餓死者を供養するために建てられたと伝わりま

八木沢峠の「七曲がり」と呼ばれた区間で道路を拡張しカーブを減らす改修工事。（昭和40年代）



「塩の道」の古道の傍らに佇む「トウバナマツ石碑群」。石碑や地蔵が15体ほど並んでいます。

れたと伝わりま。そしてそのすぐ近くの「八木沢銅屋場製鉄遺跡」は、森林資源を活用した古代製鉄の遺跡で、今も周囲に鉄滓（鉄を精錬した際に出る残滓）が散在しています。
震災時は山田電子工業が特例により避難をせずに操業を続けました（現在は閉業）。また、最新の設備を備えた養豚場があり、震災後に集積された農地は、主に農業法人が担い手となり活用しています。



復興事業で令和5年に増築された「大空ファーム」の豚舎。（令和6年）



田植え踊りを復活させ、いいたて村芸能発表祭で披露。（令和5年）

八木沢・芦原行政区（6区）

区民数105人（令和8年9月1日現在／住基人口）

八木沢峠の旧道は霧の名所。この辺りでは「霧（もや）」と呼びますが、田植えの頃に峠の谷から上がってくる霧に集落が包まれることがあります。八木沢トンネルが開通し、車の通行は減りましたが、自転車旅の人が旧道を行くのをよく見かけます。現在、南相馬市と飯館村の境で「野馬追の里風力発電所」の建設が進められていて、製造業に携わる私は、部材の移送などを興味深く観察しています。避難先で暮らす方も庭や家の手入れに通っていて、若い世代を含め草刈りにも参加してくれます。行政区としては数年ごとに研修会を行っています。



高野義一 区長



平成



避難指示解除から半年。販売を目的とした主食用米、村内で6年ぶりの稲刈り。（平成29年）

令和



もち米「あぶくまもち」の実り。生産組合を中心に生産拡大に取り組んでいます。（令和6年）

稲刈りの今と昔

さまざまな場所
や暮らしの変化
を見てみよう。

いいたて 今昔物語

70周年
村制施行



昭和

昭和期の稲刈りを写した1枚。「つくし掛け」の様子。



平成

冷害による凶作で県が視察に。10月に入っても稲が青いままの水田。（平成5年）

阿武隈高地の寒冷で平地が少ない厳しい自然環境にありながら、先人は少しずつ山あいや斜面を開墾して稲作に取り組みました。近代もたびたび冷害に見舞われましたが、「結い」による農作業の助け合い、土地改良事業推進に伴う機械化、畜産や花き栽培などと組み合わせる複合農業の推進など、気候風土に合わせた農業の発展に挑み続け、肥沃な農地をつくり上げてきました。取り組みが実り始めた矢先、震災と原発事故による全村避難で農業が全面的に中断される事態となりましたが、震災後もまた新たな条件下で、農地の集積と再生、営農スタイルの探求が続いています。稲作では、寒冷地に強い県オリジナル品種のもち米「あぶくまもち」の生産再開と拡大、飼料用米の大規模栽培による農畜連携の推進などがその例です。不屈の精神で農業の未来を描く飯館村。実りの秋の風景には、今も昔も格別の想いがあります。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」
からのお知らせです。

読書週間 10月27日～11月9日
最近読書をしていますか。
読書は読解力や語彙力、記憶力、集中力、想像力などが向上するさまざまなメリットがあります。ぜひこの機会に読書の秋を満喫しましょう。

おすすめ図書を紹介します

『夏帆』



村上春樹 著
新潮社

主人公は26歳の絵本作家・夏帆。初対面の男からいきなり謎の言葉で侮辱されたことを境に、彼女の日常は「ありくいや」「シロアリの女王」といった異界のものたちが交錯する奇妙な世界へと巻き込まれていきます。リアルと非リアルが織りなす、これまでにないクリアで前向きな読後感に出会える一冊です。

本の貸し出しご利用ください

問 交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072

立村70周年の感謝と喜び 熱き思いを未来に繋ごう



去る令和8年9月30日、飯館村は「立村70周年」という記念すべき日を迎えました。私が生まれる20年前、飯館村が誕生した昭和31年（1956年）は、戦後の復興を大きな指針としてきた社会が、経済の発展をも見据え、新たな一歩を果敢に踏み出した転換期であったとうかがいます。

また、誕生から70年を経た本年は、東日本大震災から15年目という大きな節目の年でもあります。東日本大震災とその後の原発事故による6年間におよび全村避難は、村民の暮らしやなりわい、地域のコミュニティに極めて甚大な影響をもたらしました。その影響は年月の経過だけで解消されるものではなく、今なお様々な担い手が多岐に渡る課題の解決に向かって、日々を積み重ねています。

復興のその先を見据え、村の中にある「なりわい」を育て、強化していくことも、今の飯館村にとって欠かすことのできない取り組みの一つです。村の魅力を丁寧に磨き上げ、多様な種類の「なりわい」や「人流」を生み出し、村内総生産の向上にも繋げていく。今はまさに、そういった歩みを力強く進めていくフェーズにあります。70年前、私たちの父母、祖父母の世代が、必死に汗して働き、村の未来に思いを馳せ、飯館村としての歩みを始めたように、今を生きる私達もまた、共に励み、「美しく清らかな村 いたて」を興し、富ませ、次の世代へと繋げていかなければなりません。

先の福島県議会において、内堀県知事が、村の「こども議会」で語られた「復興とは、そこに住む人、関わる人たちの思いが重なり合って、一歩ずつ前へ進むこと」という、いたて希望の里学園生の言葉をご引用くださいました。震災後に生を受けた子ども達が、自らの言葉で復興の意味を捉え、未来を見つめている姿は、今を生きるすべての世代に大きな希望を与えてくれます。

この「立村70周年」を、村を築き、支えてこられた多くの皆様への「感謝と喜び」を胸に、次代へ向けた新たな出発点としてまいります。そして、この村に暮らす人、村を思う人、村に関わる人、それぞれの熱き思いを重ねながら、次の世代へと誇れる「飯館村」を村民の皆様と共に築き上げてまいりたく存じます。

■ひとのうごき

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
荒 二三子 さん	106	飯樋町 ※
阿 部 敏 男 さん	79	二枚橋・須萱
佐 藤 静 江 さん	90	大 倉
田 村 スズエ さん	95	二枚橋・須萱
高 橋 久 男 さん	89	長 泥
佐 藤 一 子 さん	94	二枚橋・須萱
村 山 孝 さん	89	深 谷
庄 司 百合子 さん	91	深 谷
齋 藤 トメヨ さん	91	佐 須
佐 藤 勝 さん	91	前 田



ひとのうごき 令和8年9月1日現在	
人 口	今月（前月比） 7月1日～30日までの人口動態
●男	2,168人（－9） 転入 2人
●女	2,070人（－10） 転出 14人
計	4,238人（－19） 出生 0人
世帯数	1,767戸（－7） 死亡 7人
	（住民基本台帳人口）

ご冥福をお祈り申し上げます。

（8月19日から9月15日までに届け出のあったものを掲載）※は7月届出。
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

立村70周年記念 第43回 いいたて村文化祭

10月25日 ⑧ 午前10時～午後2時
午前9時30分 開会式・表彰式
交流センター「ふれ愛館」

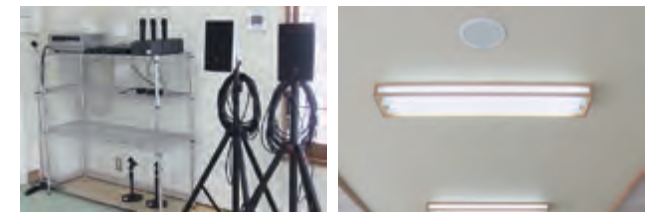
いいたて秋まつり、第9回福祉チャリティー祭りも
会場内で同時開催！飲食コーナーでは秋の味覚を。

総合文化展は10月22日～28日に開催！
午前9時～午後5時 ※24日は午前9時30分～午後2時
25日は午前10時～午後2時
幅広いジャンルの作品を展示。世代を問わない創作
の力を感じてください。民具の特別展示も同時開催。

詳細はお知らせ版9月20日号同封のチラシにて。

ふるさと70年、これからも飯館とともに

宝くじ助成事業 比曽集会所の音響機器を整備



比曽行政区が、宝くじ助成事業（一般コミュニティ助成事業）を活用し、集会所に天井スピーカーや屋外スピーカー、マイクなどの音響機器を整備しました。幅広い世代の区民が、地域コミュニティ活動や伝統芸能の継承活動などをより活発に行えるよう整備に取り組みました。

「一般コミュニティ助成事業」は宝くじの社会貢献広報事業。受託事業収入を財源としています。



皆さんが広報委員！
いいたて PHOTO リレー
月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。

テーマは
「スポーツの秋」
～いいたてスポーツ公園～
撮影者
大内 亮 さん（八木沢・芦原）



「いいたてスポーツ公園が完成する直前、平成30年にドローンで撮影したもので、施設の全景がよくわかる写真だと思います」。撮影したのは、飯館村スポーツ推進委員長の大内亮さんです。現在も毎週、村民や村内企業で働く仲間とフットサルチーム「I.B.C（いいたてベコクラブ）」で施設を利用しています。「震災前にフットサル教室で教えていた子どもが大人になって参加していて、年をとったなと実感します」と大内さん。「人工芝の状態もよく照明設備も整っているの、夜間でも

利用できます。近隣の学校やクラブも利用していますが、サッカーや陸上、野球、テニスなど本当に幅広いスポーツができる施設なので、さらに多くの方に利用してほしいですね。合宿などで活用される機会も増えてほしいです」とスポーツを通じた地域振興への思いも話してくれました。

11月号
10/16締切
例えば…「稲刈り」「運動会」「秋の音」「芋掘り」をテーマに。

12月号
11/16締切
例えば…「紅葉」「焼き芋」「冬の始まり」「七五三」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選 考 応募多数の場合は選考します。
- 報 償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係（広報担当：巻野） ☎0244-42-1613



フードアナリストが飯舘村の「食」を訪ねるバスツアーで来村 9月5日



一行は交流センター「ふれ愛館」でのオリエンテーションに続いて事業者の生産現場を視察。「宿泊体験館きこり」ではグランプリを受賞した商品や郷土料理を味わい交流しました。受賞商品の特設コーナーで販売する「いいたて村の道の駅までい館」にも立ち寄りしました。

日本フードアナリスト協会と雑誌「食楽」による『飯舘村復興支援バスツアー』の一行が、9月5日に来村しました。この春、村内の4事業者・6商品が、第97回ジャパン・フード・セレクションでグランプリを受賞したことがきっかけとなり企画されたツアーです。震災と原発事故による避難の影響にも立ち向かい、「農」と「食」の分野で着実に、豊かに発展を続ける飯舘村に関心を寄せ、同協会の横井裕之理事長らフードアナリストが多数来村しました。

「黒毛和牛」「ナツハゼ」「いいたて雪つ娘かぼちゃ」などの生産・加工に携わる事業者の元を訪ね、その声に耳を傾けた皆さん。飯舘村のさまざまな「食」の魅力に触れ、「宿泊体験館きこり」では、受賞商品や郷土料理を美食し、いきいきと交流を深めました。

サポートセンターつながっぺの利用者が いいたて希望の里学園に雑巾を寄贈 9月18日



サポートセンターつながっぺの利用者・約80人がいいたて希望の里学園の子ども達のために作った雑巾140枚を寄贈。やさしさのこもった贈り物に、代表生徒が「大切に使用させていただき、お心遣いに感謝して学校生活に励みます」と感謝を伝えました。

〈編集後記〉

仙台オクトーバーフェ

ストに販売スタッフとしても参加してきました。

お花のワークショップのコーナーを訪れた親子が

「お母さんが今日誕生日だからここで花束を作ってプレゼントするの」と

笑顔を浮かべて話してくれました。親子にとって

特別な一日に、飯舘村の生産者の方々が、文字通り「花を添える」ことが

できた瞬間に立ち会い、

ほっこりした気持ちになりました。(巻野)

黄金の稲穂、蕎麦の花。

70年間の歩みを想う時、この実りの景色に綿々と

つながる多くの人の営みに深い敬意を覚えすには

いられません。人々の思いを、暮らしを、仕事を、

挑戦を、忍耐を、愛情を。未来に語り継ぐことが節目に

にいる者の務めのようにも感じます。誇り高い

ふるさと飯舘村、70周年おめでとう！(星)